

＜スポーツ報知フットサルスペシャル 特別編＞

スポーツ報知「フットサルスペシャル」の連載企画でカスカヴェウ時代の盟友、甲斐修侍選手、市原誉昭選手との対談が実現しました。3年の出会いから、カスカヴェウ結成秘話、市原選手の移籍裏話など、紙面には載り切らなかったスペシャルトークをお届けします。

取材・構成 有野 博幸
写真 橋本 健

相根「フットサルを始めたのは山中湖でしたね」

甲斐「そうだね。今から15年くらい前か。澄は関東社会人リーグで3年連続得点王、イチは水戸ホーリーホック入りが内定していて、その時は2人ともサッカーで活躍してたよな」

相根「山中湖で毎週土日、大会に参加してましたよね。当時の山中湖には強いチームが集まってましたね。僕らが本格的にチームとして活動するようになったのは、アズーを結成してからですよ」



甲斐「第2回全日本選手権に出ていた府中水元の(上村)信之介たちのプレーを見て、触発されて97年にアズーを結成したけど、澄はまだサッカーのほうを優先してたね」

市原「僕もほかのチームで山中湖の大会に参加して、アズーと対戦してました」

相根「アズーで第3回の全日本選手権に出て、決勝まで順調に行ったんだけど、(隣で取材を受けていた藤井健太を指さして)あの男に負けたんですよ」

市原「その試合を有明のスタンドでカレーを食べながら見てました。その帰りに駐車場で修さんに『一緒にやろう』って誘われて、そのまま打ち上げにも連れて行かれました」

甲斐「その1か月後に監督が代わって、水戸入りがだめになったんだよな。イチの人生にとっては大変なことだけど、こっちはラッキーだと思ったよ」

市原「あの時、修さんに誘われてなかったら、水戸入りがだめになった後も他のJのチームのテストを受けてたと思います。あれがターニングポイントでしたね」

相根「イチも加わって、チームがアズーからエスポルチ藤沢に変わりました。そして翌年の選手権予選で府中水元に負けたんですよ」

甲斐「肝心の府中水元戦に澄が出場停止だったんだよな。その前の試合で退場になって。澄は今でこそ、さわやかなイメージですけど、本当は悪い奴で。今回はそれを暴露したい」

相根「若かったんですね」



甲斐「エスポルチの頃から澄、イチとは通じ合うものあって、勝てるチームを作ろうと思ってカスカヴェウを作ったのが99年だね」

市原「その前の年に、ファイルフォックスが結成されていて。ファイルを意識してカスカヴェウを結成したんですよ」

相根「今でもカスカヴェウのフットサルが好きだったと言われたら、うれしいですね」

甲斐「当時のゆったりとしたゲームと違って、今はフィジカルベースが高いフットサルになってるから難しいと思うけど、今季は楽しめるフットサルを見せていきたい」

相根「今回、イチが復帰すると聞いた時、修さんはいかがでしたか？」

甲斐「言葉で表すのは難しいくらいうれしくて、喜びを押し殺すのが大変だった。直接、イチと話した時も照れくさくて言えなかったんだけど、あとでその気持ちをメールで伝えたよ」

相根「自分もイチ＝浦安だと思ってたから、おどろきました」

市原「9年ぶりの復帰になるんですけど、僕の中ではカスカヴェウという存在が大きくて、ずっと乗り越えられなかったですね。一緒にフットサルを始めた修さん、代表や浦安ですと一緒だった(藤井)健太と話して、原点に戻ってフットサルを楽しみたいと思って移籍を決めました。オールドルーキーです」



相根「自分もプレデターに移籍した時、カスカヴェウを超えるためには、どうすればいいのかを考えてました。やっぱりカスカヴェウは理想のチームですから」

市原「澄さんや健太が来てくれて、チームとしてまとまってきて、浦安としてFリーグで3年戦ってきて、自分の役割は終わったなと思いました。自分がもっと成長するためには、次のステップに行こうと思いました」

相根「自分が浦安から町田に来たときも同じことを考えてたよ」



市原「修さんと一緒にプレーするのは難しいかなと思ってたので、一緒にできることになってうれしいし、今年は楽しみですね」

甲斐「イチがせっかく戻ってきてくれたのに、自分がケガで出られなかったらもったいないから調整をしっかりして一緒に試合に出たいね。イチも開幕の時には、感慨深いものがあるんじゃないかな」

市原「そうですね。ユニフォームも昔のカスカヴェウと同じようなデザインになるということで楽しみです」

甲斐「澄も現役復帰しようがいんじゃないか？」

市原「僕も一緒にプレーしたいですよ」

相根「いやいや。無理でしょう。でも、僕にとっても町田は落ち着く場所です。ふるさとのような気がします。今季は修さんとイチのコンビプレーを見るのが楽しみです」

甲斐「フリーグ1年目に決めた8点のうち7点は澄との連携からだった。思うように勝てなくて苦しんだシーズンだったけど、澄とからんだ時は『フットサルやってるな』という満足感があつた」

相根「そういう意味でも今年、イチとの連携が楽しみです。エスポルチとかカスカヴェウの初期の頃、ずっと2人で練習してましたよね」

市原「そうですね。練習に行ったら、修さんと2人だけのことが多くて、2人だけで走って、戦術を考えて練習してましたね。でも、あれほど真剣にフットサルについて考えたことはないですね」

甲斐「そうだな。そういう時代じゃないのかも知れないな」

市原「でも、あの時代があるから、理想とするイメージがずっと頭の中にあります」

相根「ものすごく濃い時間を共有したから、結束が深まりましたよね。フリーグを見ていても、チームとしてのまとまりがないと勝てないというのを感じます」



過去の記事やその他のフットサル情報は、
報知のフットサルコーナー (<http://hochiyomiuri.co.jp/soccer/futsal/index.htm>) まで。